

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
後援会が保護者の皆さまと作るページです。

2014年度後援会会長就任あいさつ



2014年度会長
池田 隆

6月7日(土)に開催された法政大学後援会総会にて2014年度会長に推挙され、1年間皆さまと共に学生・大学の支援のお手伝いをさせて頂いたこととなりました。伝統ある後援会の運営に携わることになり、責任の重さに身の引き締まる思いです。

法政大学では4月に田中優子新総長が就任され、新たなスタートを切りました。後援会も今までと同じく大学のさまざまな取り組みへの支援を続けていきたいと思えます。

法政大学後援会は、戦後間もない1947年、荒廃した教育環境の立て直しを支援するために、学生の父母が自ら立ち上げた組織で、現在会員数は2万7000人を超え、首都圏および全国36支部で構成されています。

後援会の活動目的は「大学の教育方針のつとめ、大学と学生家庭と

の連携を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」とあります。この趣旨に沿って、大学への備品寄贈、体育会やサークル活動への補助、資格試験講座への助成など、学生および大学への財政的支援活動、保護者の皆さま向けには「新人生父母の集い」や「父母懇談会」などの行事を行っております。また、広報誌「法政」や後援会ウェブサイトを介して各種情報発信も行っています。これらの活動は、全て会員から選ばれた役員ボランティア活動によって成り立っています。

このように他大学には例を見ない後援会活動の源泉は、子を思う純粋な親心だと思えます。「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、諸先輩方が築き、守り続けてきた理念を受け継ぎ、学生と大学を支える一番の応援団であり続けたいと思っております。

本年度も引き続き、後援会活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

会長退任にあたって



2013年度会長
千葉 大一

後援会会員の皆さまには、日頃より後援会活動に「ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。」と感謝申し上げます。このたび2013年度後援会会長の任期を終え、2014年度の新たな役員へ棒を渡すことができました。

1年間の後援会活動を通じて、首都圏ならび支部にて多くのご父母や支部役員の方から、「ご意見、ご要望などを伺う機会をいただき、寄せられたご意見、ご要望は、常任参与との懇談会、学部長との懇談会、総長・理事との懇談会などの場でお伝えし、子どもたちがさらに充実した学生生活が送れるように取り組んでまいりました。

さらに、今年もスポーツ応援に力を入れ、体育会系クラブで頑張る学生を応援するため、後援会による応援日を受け、試合会場に応援に駆けつけました。

また、本年4月には、卒業生組織である校友連合会が一般社団法人化による、新しい卒業生組織(法政大校友会)に生まれ変わり、2010年度以降に入学された全ての学部生が卒業と同時に校友会の終身会員となる、記念すべき年となりました。

最後となりますが、後援会では、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、学生と大学を支援する、一番の応援団であり続ける活動を行っております。引き続き、後援会活動に関心を寄せていただくとともに、ご協力をよろしくお願ひいたします。

この1年間、ありがとうございました。

写真で見る千葉会長の一年間



2013年度総会
2013年6月1日(土) 市ヶ谷キャンパス 薩埵ホール
渡邊前会長より棒が渡される



支部長会議
2013年11月9日(土) 市ヶ谷キャンパススカイホール



学部長・後援会懇談会
2013年11月9日(土) 市ヶ谷キャンパス 外灘校舎



総長学内理事・後援会懇談会
2013年11月27日(水) 市ヶ谷キャンパス 九段校舎



ソチオリンピック出場者壮行会
2014年1月16日(木) 市ヶ谷キャンパス 中央広場



公認会計士試験合格祝賀会 後援会賞授与
2014年1月25日(土) 市ヶ谷キャンパス 薩埵ホール



外国人留学生・派遣留学生の卒業を祝う会 外国人留学生表彰
2014年3月24日(月) 市ヶ谷キャンパススカイホール



第132回学位授与式来賓あいさつ
2014年3月24日(月) 日本武道館



2014年度総会
2014年6月7日(土) 市ヶ谷キャンパス
池田新会長に次を託して固く握手を交わす

2014年度 法政大学後援会の主な年間行事

年	月	日	曜日	行事	内容	
2014年	4月	3日	木	入学式	大学行事。日本武道館にて開催	
	5月	17日	土	幹事会	後援会の役員会。決算案、予算案などを審議	
	6月	7日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の打合せ	
				総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案等を審議	
	7月～8月	土・日	—	懇親会	大学主催の懇親会	
				支部総会・父母懇談会・懇親会	詳細は本誌5月号、後援会ホームページに掲載	
	10月	12日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・デザイン工・GIS(グローバル教養学部)の1～3年の父母対象	
	10月	18日	土	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)	経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部の1～3年の父母対象。大学祭(多摩祭)と同日開催	
	10月	19日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	工・情報科・理工・生命科学部の1～3年の父母対象	
	11月	8日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告	
学部長・後援会懇談会				会員から寄せられた質問に学部長が回答		
2015年	1月	10日	土	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする本学関係者が集う新年会	
	3月	7日	土	幹事会	後援会の役員会。事業報告・予算案などを審議。暫定予算などを審議	
				後援会賞表彰	難関試験を突破した学生などを後援会会長が表彰	
	3月	下旬	—	—	体育会卒業生を送る会	スポーツ分野で感動的な活躍をした学生を後援会会長が表彰
	3月	24日	火	学位授与式	大学行事。日本武道館にて開催	
外国人留学生表彰				国際交流に尽くした留学生を後援会会長が表彰		

入学を喜ぶ



大島 健介・秀子
(東京都)

武尊 (経済学部 中)

本当に おめでとう。辛い受験の中で勉強の楽しさをわかることができたのは、受験と真剣に取り組んだからこそ。これから始まる大学生活、いろんなことにチャレンジすると同時に何かにどっぷり浸かってみてください。これからも応援しています。



塚田 真之・千春
(長野県)

好望 (法学部：中)

法政大学合格！！親として最大の喜びは合格を祝ってくれた祖父母・親戚方・友人・先生方々に、この子は支えられ愛されているのだなと痛感したことです。この愛を自信とし、困難を乗り越え大学生活を終えるときにも周りの皆さまに愛される「人」でいてくれたら、幸いです。



楠 ひとみ
(熊本県)

大地 (経営学部：右)

入学おめでとう。終始一貫して法政に行く！を曲げなかったあなたが合格した日の喜びに満ちた姿を忘れることはできません。いよいよ大学生活の始まりです。夢の実現のために努力を惜しまずいろいろなことにチャレンジして大学生活を充実多きものとしてください。応援しています。



鈴木 郁美
(埼玉県)

詩織 (生命科学部：左)

入学おめでとう。憧れの大学生活が始まります。今まで何事にも意欲的に取り組む姿勢には感心していました。これからは新しい世界で更に視野を広げ、さまざまな人と出会い、たくさんの宝物を見つけてください。どんな時でも応援しています。



眞野 傳人・彩美
(愛知県)

湧仁 (経済学部：中)

入学おめでとう。親子三代法大生となり、何か運命的な出会いを感じ入学式に参加しました。4年間は、長い様で大変短いです。学生生活をぜひ有意義に過ごしてもらい、卒業する時には「法大生で良かった」と胸を張って立派な社会人に成長してくれる事を期待しています。



安間 記子
(東京都)

通浩 (理工学部：左)

「社会に貢献できる人になる」という自らの目標に向かってしっかり学んでくれることが嬉しいです。先生方や友人とのご縁を大切に有意義な大学生活を送ってください。お祈りしています。



宮澤 敬子
(千葉県)

亮 (経営学部：中)

入学おめでとう。満開の桜に祝福され今日の良き日を迎えました。厳しい部活動をやりぬいた強い精神力でこれからも目標に向かって頑張ってください。充実した大学生活を送り、成長してくれることを楽しみにしています。



志垣 恵子
(熊本県)

綾乃 (国際文化学部：左)

入学おめでとう。受験を乗り越え目標に向かって進んでいく姿をみてとても頼もしく感じています。遠く離れたの生活は寂しくもありますが、法政大学で学びたいという強い気持ちを胸に、人として大きく成長してくれることを願っています。応援しています、頑張って！



児島 文雄・由美子
(千葉県)

裕文 (社会学部：左から2人目)

きっと合格通知を持って来るから、それまで頑張るとの願いも虚しく、1月に祖父が他界。気持ちが沈む中、最後まで諦めずに頑張りましたね。四十九日に合格発表。祖父も喜んでいてことでしょう。これから4年間、新たな目標に向かって頑張ってください。



栗田 敬子
(くり実/経済学部)

「私、少林寺拳法部に入ることにした」

4年前、私にこう告げた娘・くり実の明るく、凛とした面持ちが今でも昨日のことのように思い出されます。12年間歌にしか興味がなく、運動は苦手だったくり実が大学でも体育会に入るとは、親にとっても青天の霹靂でした。

小さい頃から恥ずかしがり屋で内気な娘でしたが、歌が大好きで小学校1年生の時から地元の合唱団に入っておりました。桐朋女子中・高等学校へ進学した時は音楽部合唱班に所属し、NHK全国学校音楽コンクールで関東大会出場など貴重な体験を積み重ねました。桐朋の教育理念は「こころの健康 からだの健康」ですが、まさに合唱を通して心も体も成長していった6年間でした。

そんなくり実が、初めて見た法政大学少林寺拳法部の先輩方の演武にたちまち魅せられ、「自分もあのようになんて華麗に動いてみたい」と入部を決めました。法政大学体育会には現在37部が所属しており、2012年に創部50周年を迎えた少林寺拳法部は1981年に体育会と



突く位置の確認 (市ヶ谷体育館)

して正式に加盟した一番新しい部です。金容度部長をはじめ、法政大学少林寺拳法部OBである丹羽良貴監督のもと、50人の現役部員が関東学生大会や全日本学生大会に向けて日々練習に励んでいます。少林寺拳法は中国の武術と思われがちですが、戦後、宗道臣によつて創始された日本固有の武道です。「入づくりの行」と言われ、勝ち負けを争う試合がありません。技は、突き蹴りの「剛法」、投げや関節を極める「柔法」、急所を攻める「圧法」など多岐にわたっています。これらを組み合わせ、自然の流れの中で技を繰り出すのが「演武」です。1人で行う単独演武、2人で組む組演武、



2014年5月14日(水) 関東大会第10位 (日本武道館)

6人もしくは8人で行う団体演武があり、部員達は各自の級や段位に応じた技を組み合わせて演武の形に作り上げます。大会ではこの演武の審査を主体とし、いかに自然で美しく正確に行えるかを発表し合います。くり実にとつて少林寺拳法は全くの初めてでしたが、「早く黒帯になりたい」と入部した当初から雨の日も雪の日もランニングを欠かさず行い、体育館の鏡の前で自分の姿を見て研究もしていました。青あざを作つてくることも多くなり母親の私は心配しましたが、本人は全く気にする様子もなく、一歩一歩前に進みながら、この3月には二段を取る事ができました。また今年度、女子部主将を拝命いたしました。身に余る



練習前に心をついに (市ヶ谷体育館)

大役ですが、まとめ役として多角的な視野を持った判断力を身につけてほしいと思います。運動が苦手だった娘が体育会という世界に飛び込みここまで続けてこられたのは、少林寺拳法部の素晴らしい仲間に出会えたからにほかなりません。娘にとつて仲間との時間はかけがえない大切なものです。強い気持ちで物事に取り組めるようになったことも大きな自信となりました。自分を支えてくれる仲間や周りの方々にいつも感謝の気持ちを忘れず、これからも前を見つけて歩いてほしいと願っています。

体育会応援25 「少林寺拳法部」 ～親からのメッセージ

※()内はお子さまの名前/学部